

教科	数学	科目	数学 I	単位数	4
学年	1 年	教科書	高校数学 I 新訂版 (実教出版)		
学科	全学科	副教材	高等学校数学 I サブノート (実教出版)		

学習目標	① 数と式、2次関数、三角比、集合と論証、データの分析について基礎的な知識を理解するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けます
	② 目的に応じて式を変形し処理する力や論理的に考察し表現する力、適切な手法を選択して分析を行い、問題を解決したり解決の過程や結果を批判的に考察し判断したりする力を養います。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度、問題解決の過程を振り返って考察を深めたり、評価・改善したりしようとする態度や創造性の基礎を養います。

学期	単 元	学習内容・学習のねらい
1	1 中学校の総復習	・高校数学へのステップを用いて中学校の総復習を行います。
	2 数と式 ・整式 ・実数 ・方程式と不等式	・加法・減法、乗法、展開、因数分解を学びます。 ・根号計算の理解を深めます。 ・1次方程式、1次不等式、連立不等式について学びます。
	3 三角比 ・三角比 ・三角比の応用	・三角比 ($\sin A$ 、 $\cos A$ 、 $\tan A$) を学びます。 ・三角形の面積、正弦定理、余弦定理について学びます。
2	4 2次関数 ・関数とグラフ ・2次関数の値の変化	・1次関数と2次関数のグラフを学びます。 ・最大値・最小値、2次方程式、2次不等式について学びます。
	5 集合と論証 ・集合 ・命題と証明	・集合の概念や用語について学びます。 ・命題の真偽や逆、対偶、いろいろな証明について学びます。
3	6 データの分析 ・データの分析	・統計グラフと度数分布表について学びます。 ・代表値、データの散らばり、相関関係について学びます。
	課題	① 予習や復習を行い、教科書や問題集を活用し、理解の定着に努めます。 ② 夏休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、1学期までの内容の復習を行います。 ③ 冬休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、2学期までの内容の復習を行います。 ④ 事前学習プリントを活用し、年間5回の数学テストに取り組みます。

評価の観点		趣 旨
I	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
II	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
III	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
IV	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	

教科	数学	科目	数学 A	単位数	2
学年	2 年	教科書	高校数学A (実教出版)		
学科	全学科	副教材	サブノート数学A (実教出版)		

学習目標	① 場合の数と確率や整数の性質についての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学と人間の活動の関係について認識を深め、数学的に表現・処理する技能を身に付けます。
	② 論理的に考察する力や確率の性質などに基づいて事象の起こりやすさを判断する力、数学と人間の活動との関わりに着目し、数理的に考察する力を養います。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度や粘り強く考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性の基礎を養います。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 場合の数 ・集合と要素 ・順列 ・組合せ	・いろいろな集合を理解し、要素の個数について学びます。 ・順列や円順列、重複順列について学びます。 ・組合せの意味を理解し、図形の問題にも応用します。
2	2 確率 ・事象と確率 ・独立な試行と確率 ・反復試行の確率 ・条件つき確率	・試行と事象の意味を理解し、確率の基本的な考え方を学びます。 ・独立な試行や反復試行について学びます。 ・条件つき確率を学びます。
3	3 図形の性質 ・作図 ・三角形の性質 ・円の性質 ・空間図形	・基本的な作図の方法を学びます。 ・三角形の内角と外角の関係や外心・内心・重心について学びます。 ・円と四角形や円と接線、方べきの定理について学びます。 ・空間図形の基礎を理解し、多面体の性質などを学びます。
課題	① 予習や復習を行い、教科書や問題集を活用し、理解の定着に努めます。 ② 夏休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、1 学期までの内容の復習を行います。 ③ 冬休み課題は、基礎力診断テストの課題を用い、2 学期までの内容の復習を行います。 ④ 事前学習プリントを活用し、年間5回の数学テストに取り組みます。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
II	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
III	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
IV	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」等をもとに総合的に評価します。(100 点法)	

教科	数学	科目	数学Ⅱ入門	単位数	2
学年	3年	教科書	数学Ⅱ入門(学校設定科目)		
学科	全学科(選択)	副教材	なし		

学習目標	① 図形と方程式、指数関数・対数関数、三角関数及び微分・積分の考えについての基本的な概念や原理・法則を理解するとともに、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けます。
	② 論理的に考察する力や問題解決の過程や結果を振り返って統合的・発展的に考察したりする力を養います。
	③ 数学のよさを認識し数学を活用しようとする態度、粘り強く柔軟に考え数学的論拠に基づいて判断しようとする態度や創造性の基礎を養います。

学期	単元	学習内容・学習のねらい
1	1 2次方程式	・方程式についての理解を深め、数の範囲を複素数まで拡張し、2次方程式を解きます。
	2 点と直線	・座標や式を用いて、点や直線の基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現します。
	3 円の方程式	・座標や式を用いて、円の基本的性質や関係を数学的に表現します。
	4 三角関数	・角の概念を一般角まで拡張して、三角関数及び三角関数の性質について理解します。
2	5 指数関数・対数関数	・指数関数及び対数関数について理解し、それらを事象の考察に活用できるようにします。
	6 微分係数と導関数	・微分の考えについて理解します。
	7 導関数の応用	・微分の有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。
3	8 積分とその応用	・積分の考えについて理解し、それらの有用性を認識するとともに、事象の考察に活用できるようにします。
課題	① 予習や復習を行い、教科書やワークシートを活用し、理解の定着に努めます。 ② 夏休み課題は、1学期復習プリントを活用し、1学期の内容の復習をします。 ③ 冬休み課題は、2学期復習プリントを活用し、2学期の内容の復習をします。 ④ 事前学習プリントを活用し、年間4回の数学テストに取り組みます。	

	評価の観点	趣 旨
I	関心・意欲・態度	数学の論理や体系に関心をもつとともに、数学のよさを認識し、それらを事象の考察に積極的に活用して数学的論拠に基づいて判断しようとする。
II	数学的な見方や考え方	事象を数学的に考察し表現したり、思考の過程を振り返り多面的・発展的に考えたりすることなどを通して、数学的な見方や考え方を身に付けている。
III	数学的な技能	事象を数学的に表現・処理する仕方や推論の方法などの技能を身に付けている。
IV	知識・理解	数学における基本的な概念、原理・法則などを体系的に理解し、知識を身に付けている。
評価方法	各単元の目標の到達度を、四つの観点から「定期考査・小テスト」「課題やワークシート、ノートの提出状況」「授業への取組」等をもとに総合的に評価します。(100点法)	